

大五郎建設有限会社（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター）

よろず支援拠点、金融機関、保証協会と連携し、300年企業を未来に繋ぐ

基本情報

相談企業：大五郎建設有（南房総市）
代表取締役：石井正明氏（第九代目棟梁）
後継者：石井良次氏
種別：親族内

承継方法：計画策定
計画期間：2024年9月～2030年8月
対応方針：三次対応
取扱：公表可

相談企業の概要

- 当社の創業は元禄五年に遡る。屋号は「白子五郎右衛門」。当社の代表取締役が現在の棟梁であり、九代目を数える。
- 伝統的な宮大工の技術を脈々と受け継ぎ、神社仏閣・文化財の改修工事を主軸しながらも、現代においては伝統技術と最新技術を組み合わせ、安心して過ごせる家造りを経営目標として戸建て建築にまで事業領域を広げている。
- また、近年は古民家再生事業にも注力しており、代表取締役は一般社団法人全国古民家再生協会千葉第一支部並びに一般社団法人南千葉古民家再生協会の代表理事にも就いている。



相談までの経緯

- 当社は千葉県よろず支援拠点の支援を得て事業再構築補助金を活用し、古民家再生事業推進用の展示室を設置した。
- よろず支援拠点はその過程で事業承継の支援ニーズも掘り起し、当センターを代表取締役に紹介、相談会へご誘致した。



センターの支援内容とその効果

- センターでは千葉県よろず支援拠点からの取り次ぎを受けて相談に対応。相談の席には、かねて当社を伴走支援している金融機関の担当者も代表取締役からの要請を受けて同席した。
- エリアコーディネーターは親族内承継全般について丁寧にご説明し、当社の課題解決の方向性を提示した。
- その後、さらなる支援要請を受け、センターでは専門家を5回にわたって事業所に派遣。そして、代表権と株式を父から次男（専務取締役）3年目に移転し、円滑に事業を承継していく5か年の計画の策定へと導いた。
- 計画策定にあたり重点項目とした点は、ローカルベンチマークを活用した事業の見える化と当社の強みの洗い出し、財務基盤の整備、本社不動産の承継、営業力の強化と新たな成長戦略、そして人員の確保。
- こうした課題の解決策を事業承継計画に盛り込むことで、当社の優位性を次世代に伝承することに貢献することができた。また、次男の次は長男の子に、古民家再生事業は行く行く三男に承継していく道筋も明確にすることができた。
- 事業承継計画の内容は、代表取締役からの求めに応じて取引金融機関のほか、千葉県内の4機関連携のスキームに基づいて千葉県信用保証協会にも共有した。それにより、事業承継後の経営者保証の取扱いについても協調体制を整える。
- 上記の支援を通じて、代取と後継者の双方から謝意が示された。



左 代表取締役 石井正明 氏
右 後継者:専務取締役 石井良次 氏

